

現地報告② 愛宕浜の子供たちの愛がポップイの子供たちへ



3月16日、福岡市立愛宕浜小学校の子どもたちが集めてくださった支援金により、CMC ポップイ安倍小学校の子どもたちへ新しい制服が贈られた。

ポップイの子どもたちはこの日を楽しみにしており、我々の到着と同時にたくさんの児童がうれしそうに駆け寄ってきた。

(写真左：贈呈式にて制服を渡す由見裕也とホー先生)



さっそくピカピカの制服を身にまとう男の子。



新しい制服に何だか得意げな様子。右肩には支援をしていただいた愛宕浜小学校の「ATAGOHAMA」の文字が。



教室で授業に励む子どもたち。カンボジアの将来は君たちにかかっている。がんばれ！





この日は日本からTVの撮影が入り、ポップイの子どもたちが取材を受けた。「未来の主役」という番組で、こどもの日(5月5日)に日本全国で放送される。

写真左:  
インタビューを受け、地雷原に囲まれた村で暮らす恐怖と、学校で学べることの楽しさを語る男の子。

CMC ポップイ安倍小学校はたくさんの方々の日本の方々からの支援によって支えられている。特に、日本の小学校からの支援は大きい。

今回、ポップイの子どもたちが日本の子どもたちに精一杯の感謝の気持ちを込めて絵を描いてくれた。

これらの絵は CMC を通じて、支援していただいた学校の子どもたちへ贈られる。



「オーケン！ムッペアックチョボン！」  
(ありがとう！日本のお友達！)

と声いっぱいにお礼を言う子どもたち。

直接会ったことはないけれど、日本の子どもたちは彼らにとっていつも身近な存在である。

この村には電気も水道もない。しかし学校がある。学校には希望がある。子どもたちの笑顔がある。  
CMC ポップイ安倍小学校の敷地は3年前まで地雷原であった。そんな場所に学校が建ち、今では子どもたちが元気に勉強している。それもこれも全て日本の支援者の皆さんのおかげである。今回制服を支援して下さった愛宕浜小学校の皆さん、本当にありがとうございました！